



開会のご挨拶

代表取締役社長
野崎 明



MINING THE FUTURE



住友金属鉱山

SUMITOMO METAL MINING

<https://www.smm.co.jp/>

住友金属鉱山 IR-Day 2020

時間	セッション	説明者
13：00～13：10	ご挨拶・全般概要のご説明	代表取締役社長 野崎 明
13：15～13：55	資源事業	取締役専務執行役員 資源事業本部長 朝日 弘
14：05～14：45	製錬事業	取締役常務執行役員 金属事業本部長 松本 伸弘
14：55～15：35	電池材料事業	執行役員 電池材料事業本部長 阿部 功
15：45～16：25	機能性材料事業	執行役員 機能性材料事業本部長 滝澤 和紀
16：25～16：30	閉会のご挨拶	常務執行役員 コーポレートコミュニケーション部門総括 安川 修一

※進行状況に応じて、各セッションの開始・終了時間は多少前後することがありますので予めご了承ください。

住友金属鉱山のこれから（取り巻く事業環境と当社の思い）

■企業の環境や地域社会への姿勢に関する社会の要請の厳格化

～Global Tailings Reviewによる尾鉱ダム国際規格（GISTM）制定などの事例から～

住友金属鉱山のこれから（取り巻く事業環境と当社の思い）

住友のDNAの体現

- 技術力：銅と銀を分離する革新的技術である南蛮吹きを開発し同業者へ公開
- 地域社会との共存共栄：
 - ・ 283年にわたる別子銅山経営を通じた地域社会との信頼関係や貢献
 - ・ 近代化に伴う煙害被害拡大を抑制するため瀬戸内海の無人島へ製錬所を移設
 - ・ 47年間にわたる煙害問題(亜硫酸ガス排出ゼロ)を世界に先駆けて解決



南蛮吹き(鼓銅図録)

写真提供：住友史料館

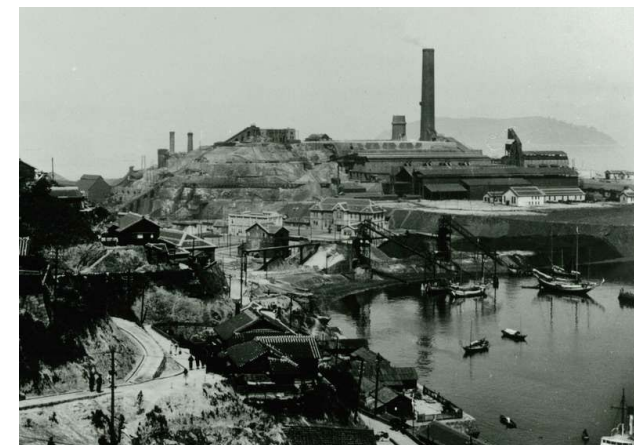


私立住友東平尋常高等小学校

1967年(昭和42年)別子銅山 東平地区



住友別子病院東平分院



四阪島製錬所 1920年代(大正末期)

写真提供：住友史料館

住友金属鉱山のこれから（取り巻く事業環境と当社の思い）

現代においても当社が受け継ぐDNA

- 地域社会との共存共栄
病院・学校運営、電力供給、上下水道、道路建設、港湾・空港建設、マラリア・デング熱防止プロジェクトなど地域貢献
- アメリカモレンシー鉱山周辺学区の中高生向け奨学金制度を1987年から運用
- Cote金開発プロジェクトにおいても、地域社会と良好な関係を構築しながら計画を推進



住民への無料診断プログラム(フィリピン)



モレンシー地区の生徒と住友奨学金基金関係者



先住民首長達も参加したコテの起工式



MINING THE FUTURE

<https://www.smm.co.jp/>

